

# 総義歯とインプラント オーバーデンチャーが学べる 無歯顎補綴の新成書!

大学で学んだ知識・技術だけでは克服できない症例に対峙した時のヒントが満載。

## 無歯顎補綴の 治療戦略

総義歯とインプラントを用いた  
難症例へのアプローチ

[著] 吉松繁人／奥野幾久

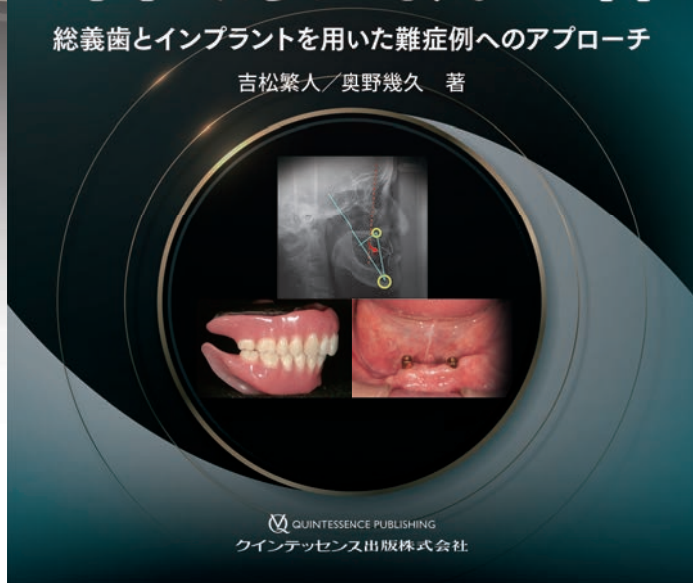
斯界の気鋭歯科医師によるザ・クインテッセンス誌好評連載をベースに書籍化。下顎位と咬合採得の手法、デンチャースペースとコピーデンチャーの重要性、治療計画から初期治療、総義歯およびインプラントオーバーデンチャー製作の実際、コンプリケーションとその対応、メンテナンスまでを網羅した新時代の成書となっている。

## 無歯顎補綴 の 治療戦略

Treatment strategy of prosthodontics for edentulous patients

総義歯とインプラントを用いた難症例へのアプローチ

吉松繁人／奥野幾久 著



### Contents

- |  |                                     |
|--|-------------------------------------|
| CHAPTER 1 多様化する治療ニーズ                     | CHAPTER 8 補綴装置製作の実際：咬合平面の設定，咬合調整    |
| CHAPTER 2 無歯顎治療におけるドグマを探る                | CHAPTER 9 さまざまな骨格タイプに合わせた補綴装置製作     |
| CHAPTER 3 下顎位と咬合採得                       | CHAPTER 10 軟質裏装材                    |
| CHAPTER 4 生体と補綴装置との調和：デンチャースペース～コピーデンチャー | CHAPTER 11 無歯顎補綴におけるインプラントの利点と欠点    |
| CHAPTER 5 無歯顎補綴のエンドゴール                   | CHAPTER 12 無歯顎補綴へのインプラントの応用：IODを中心に |
| CHAPTER 6 治療計画と初期治療                      | CHAPTER 13 コンプリケーションとその対応           |
| CHAPTER 7 骨格性不正咬合：無歯顎補綴に必要な診断と治療手順       | CHAPTER 14 メンテナンス                   |



■CHAPTER 1 多様化する治療ニーズ

1. 年齢で変化する治療戦略
2. 治療戦略に影響するさまざまな要素
3. 無歯顎補綴は究極のオーダーメイド医療



■CHAPTER 2 無歯顎治療におけるドグマを探る

1. 状況に応じた治療オプションの提示
2. うまくいく症例とうまくいかない症例
3. 歯学教育を取り巻く環境の変化
4. 無歯顎治療に潜むドグマ
5. これからの無歯顎治療



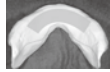
■CHAPTER 3 下顎位と咬合採得

1. 下顎位の概念
  - 1) 顎関節によって規定される下顎頭位
  - 2) 歯によって規定される咬合位
  - 3) 神経・筋系によって規定される下顎位
2. 下顎位決定に影響する因子
3. 下顎位の決定
  - 1) 切歯路とゴシックアーチ
  - 2) 顎間関係の異常の察知
  - 3) 下顎位とデンチャースペース
  - 4) 咬合高径と快適咬合域
  - 5) 咬合平面と下顎運動
4. 下顎位修正のヒント
  - 1) ステップ 1：咬合挙上～垂直的顎間関係
  - 2) ステップ 2：デンチャースペース～水平的顎間関係
5. 無歯顎において理想的な下顎位を求めるためには



■CHAPTER 4 生体と補綴装置との調和:デンチャースペース～コピーデンチャー

1. デンチャースペースに適応した補綴装置
2. デンチャースペースとは
3. デンチャースペースの形態を探る
4. デンチャースペース採得の実際
5. コピーデンチャーの活用とその有用性



■CHAPTER 5 無歯顎補綴のエンドゴール

1. 無歯顎補綴装置に求められるもの
2. 治療ゴール設定の違いと難しさ
3. エンドゴールを判定するための 4 つのポイント
  - Point 1：スムーズな開閉口運動が可能
  - Point 2：偏心咬合位では義歯が動揺しない円滑な滑走
  - Point 3：片側性咬合平衡が確立している
  - Point 4：タッピングポイントの収束と咬合面の均等な接触バランス



■CHAPTER 6 治療計画と初期治療

1. 患者が満足する治療計画の立案
2. 無歯顎補綴における初期治療の重要性
3. 治療計画の進め方
4. 治療用義歯の製作について
5. コピーデンチャーの応用
6. 初期治療中に行うリハビリテーション
  - 1) 外舌筋と内舌筋
  - 2) 舌骨上筋群・舌骨下筋群と咀嚼嚥下の関係
  - 3) 舌骨上筋群・舌骨下筋群と下顎位の関係
  - 4) 舌のMFT (Myofunctional Therapy)
7. 最終補綴装置製作に向けて
  - 1) 最終義歯製作に入る前に(再評価)
  - 2) 補綴スペースの落とし穴



■CHAPTER 7 骨格性不正咬合:無歯顎補綴に必要な診断と治療手順

1. 補綴製作の手順～診断用・作業用模型の製作
2. 最終補綴スペースの確認
3. 骨格性不正咬合を考慮した咬合再構成
4. 画像診断の有用性
5. 模型診断
6. 個性正常咬合の再現
  - 1) インサイザルポジション
  - 2) ポステリアポジションの勘所



■CHAPTER 8 補綴装置製作の実際:咬合平面の設定,咬合調整

1. 総義歯の印象採得とデザイン
2. 咬合器装着と調節湾曲の設定
3. 咬合平面の設定
4. 機能的な咬合の付与
5. 咬合調整



■CHAPTER 9 さまざまな骨格タイプに合わせた補綴装置製作

1. Skeletal deep biteとSkeletal open bite
2. 補綴装置製作時の注意点
3. Bimaxillary protrusionの補綴装置製作



■CHAPTER 10 軟質裏装材

1. 軟質裏装材の有効性と注意点
2. 軟質裏装材の種類と特徴
3. 軟質裏装材の適応症
4. 間接法か直接法か
5. 軟質裏装材のメンテナンス



■CHAPTER 11 無歯顎補綴におけるインプラントの利点と欠点

1. 補綴装置の製作からみた問題点
2. インプラント補綴と顎堤対向関係のかかわり
  - 1) 前歯部における顎間関係の考察
  - 2) 臼歯部における顎間関係の考察
3. 補綴装置の挙動と顎骨の歪み
4. 骨格性不正咬合と補綴装置選択の注意事項
  - 1) 骨格性Class II傾向,顎堤関係がClass II傾向の補綴装置
  - 2) 骨格性Class III傾向,顎堤関係がClass III傾向の補綴装置
5. 長期メンテナンスからみたIODの注意事項



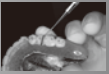
■CHAPTER 12 無歯顎補綴へのインプラントの応用:IODを中心に

1. 患者に合わせた治療オプション
2. IODの必要性
3. IODの適応症例は?
4. おさえておくべき設計原則
  - 1) フルグラムライン(支歯間線)とインプラントポジション
  - 2) A-P ratio(distance/spread)



■CHAPTER 13 コンプリケーションとその対応

1. 義歯の破損
  - 1) 義歯床の破折
  - 2) 人工歯の破折・脱離
2. 粘膜面不適合に対するリライン



■CHAPTER 14 メンテナンス

1. メンテナンスの役割
2. メンテナンスへの移行
3. 清掃状態の確認と毎回の仕上げ
4. 咬合状態の変化には敏感に



きりとり線

注文書

無歯顎補綴の治療戦略 総義歯とインプラントを用いた難症例へのアプローチ

モリタ商品コード:208040854

冊注文します。

●お名前	●貴院名	●ご指定歯科商店
●ご住所 (〒 )		
●TEL	●FAX	

支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。  
※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送り致します。